

第5回 梅の花咲く薩摩ツアー



梅園の散策を楽しむ参加者

される方もいました。花見の後は、農産物加工センターで梅の加工状況を見学しました。

地元食材を使った「煮しめ」の昼食では、懐かしい味を感じながら、おいしそうに食べていました。

また、観音滝温泉で入浴して日頃の疲れを癒し、ガラス工芸館や特産品直売所で買い物をするなど薩摩ツアーを楽しみました。

名残惜しそうに帰路につく参加者からは「来年もぜひ参加したい」という意見が多数寄せられました。

2月21日、さつま町観光協会の主催で「第5回梅の花咲く薩摩ツアー」が開催されました。

このツアーは鹿児島市からの日帰りバスツアーで、約320人の応募者の中から抽選で選ばれた90人が参加しました。

今年は暖冬の影響で梅の開花が早く、当日は満開を少し過ぎた時期となりましたが、まだまだ見頃で、さつま町梅振興会の市山正弘さんの梅園を散策した参加者は、花見を大いに楽しみ、「梅の収穫時期にもう一度来てみたい」と話



農産物加工センター見学

広報さつま 3月号

読み終わったら故郷を離れている

家族や知人に送りましょう

第2回 さつま町民大会

2月4日、第2回さつま町民大会が宮之城文化センターで開催されました。今回は、昨年7月の県北部豪雨災害の復興を願い、“災害に負くんな きばれ きばいが さつま町”を大会テーマとして、多くの方が参加しました。

大会は、宮之城轟太鼓による快適なリズムと場内に響き渡る豪快なバチさばきで幕を開け、読書感想文・感想画、あいさつこだま運動標語、学校花壇コンクール、人権啓発標語・ポスターやさつま美術展、河川・道路愛護団体などへの表彰が行われました。特に今回は、先の豪雨災害復旧作業に対し献身的に協力していただいた建設業など8団体や町内外からボランティアとして作業に従事していただいた中学校、高等学校14校へ感謝状が授与されました。

また、山崎中学校の中園祐輝さんと福迫泰平さんによる青少年アドベンチャー事業体験発表や薩摩中央高校の満園裕希さんと山下翔大さんによる災害ボランティア体験発表、ことぶき大学の齋藤ミチ子さんによる生涯学習講座受講生の体験発表、奄美パーク園長の宮崎緑さんによる「人づくりはまちづくり」と題した記念講演が行われました。宮崎さんは、豊富な経験と国際的な視点から、地球が抱える様々な環境問題を提起され、大きな問題も一人ひとりの小さな取り組みが重要であり、そのことが地域の振興、発展へとつながるなど、地域形成における人づくりの重要性を強調されました。

このほか、子ども五つ太鼓、舞踊、ハーモニカ演奏などの講座発表やシナマイロール花手芸、ポーセラーツ、パッチワーク、メッシュクラフトなどの作品展示、日赤奉仕団による非常食炊き出し実演もあり大会を盛り上げました。



宮崎 緑さんによる記念講演



各種表彰の様子